JFA Japan Forging Association
JFAニュース
Aug. 2025
Vol.277

東京都中央区日本橋本町４－９－２　本栄ビル９階　https：//www.jfa-tanzo.jp　一般社団法人日本鍛造協会
TEL 03(5643)5321　FAX 03(3664)6470　e-mail：forging@jfa-tanzo.jp　編集発行　広報委員会

MF-TOKYO2025
プレス・板金・フォーミング展
【鍛造ゾーン】多くの来場者で賑わう

去る７月16日(水)から７月19日(土)にかけて東京ビッグサイトにおいてMF-TOKYO2025プレス・板金・フォーミング展が開催され、猛暑にも関わらず延べ31,207人の来場者があり、【鍛造ゾーン】（28社・１団体が出展）にも大勢の皆様にお立ち寄りいただきました。

鍛造ゾーンでは、前回に引き続きスタンプラリーを実施し、連日多くの方が参加され大いに賑わいました。

また、４日間の会期中、出展企業各社は来場者への対応や同業他社との情報交換を行うなど盛会裡のうちに閉幕しました。

このほか、７月18日(金)には、「会員相互交流会」を開催し､32社70名の方々が集い、交流を深めました。

■テーマは【鍛造祭】

新規セミナー開催　受講者募集中！●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●

品質確保、トラブルの未然防止、企業経営に寄与する熱処理講座

本セミナーは、材料、鍛造および製品機能から熱処理技術を考え、品質トラブル事例を学ぶことで、製品の品質確保、品質向上のヒントが得られる講座です。

■開 催 日　2025年10月20日(月)－21日(火)
■開催場所　KOKO PLAZA 大阪市立青少年センター（大阪市東淀川区）
■対　　象　製造現場に従事して１～３年目の方、金属熱処理に関する知識を習得したい方
■定　　員　30名（最小催行 10名）
■講習時間　１日目　10：00～18：00　　２日目　９：30～16：00
■受 講 料　［会員］82,500円(税込)／名　　［一般］110,000円(税込)／名

詳細につきましては、当協会ホームページ（https://www.jfa-tanzo.jp）「最新のお知らせ」をご覧ください。

５団体共催セミナーのご案内

令和７年度も５団体（日本鍛造協会、日本ダイカスト協会、日本鋳造協会、日本鋳鍛鋼会）共催セミナーを実施することとなりましたので、ご案内いたします。セミナー詳細やお申し込みにつきましては、当協会ホームページをご覧ください。

3次元CADを活用したソリッドモデリング技術【SOLIDWORKS】

［主な内容］
1．設計とは？
2．モデリング３ヶ条
3．モデリング３ヶ条と部品モデリング
4．検証作業
5．演習問題

■日　程：2025年８月28日(木)～29日(金)
■受講料：16,000円　　定員12名（先着）
■会　場：高度ポリテクセンター（千葉市美浜区）

製造業における実践的生産管理

［主な内容］
1．生産管理とは
2．生産管理の実態
3．生産管理演習
　（安全在庫、納期遵守率、各種指標の演算）
4．まとめ（各種指標の活用手法

■日　程：2025年12月１日(月)～３日(水)
■受講料：14,000円　　定員12名（先着）
■会　場：高度ポリテクセンター（千葉市美浜区）

各種の溶接施工技術（保全活用編）NEW

［主な内容］
1．溶接法の種類と特徴
2．溶接欠陥と対策
3．各種金属材料の溶接性
4．各種溶接実習
5．要望に応じた溶接施工

■日　程：2025年９月25日(木)～26日(金)
■受講料：16,000円　　定員12名（先着）
■会　場：高度ポリテクセンター（千葉市美浜区）

工業・製品図面 読み方のポイント「図面から製品情報を読むために」

［主な内容］
1．投影法って？
2．図面に描かれている記号の意味は？
3．寸法って？
4．サイズ公差って？
5．はめあい記号って？
6．幾何公差って？
7．表面性状って？

■日　程：オンライン
　2026年１月26日(月)／１月30日(金)
　２月２日(月)
■受講料：6,000円　　定員30名（先着）

各種の溶接施工技術（補修溶接編）NEW

［主な内容］
1．溶接法の種類と特徴
2．溶接欠陥と対策
3．溶接熱履歴による材質変化
4．補修時の注意点
5．要望に応じた溶接加工

■日　程：2026年１月８日(木)～９日(金)
■受講料：15,000円　　定員12名（先着）
■会　場：高度ポリテクセンター（千葉市美浜区）

生産設備を故障させないための機械保全

［主な内容］
1．トラブル発生時、討議を活発にさせるための事例紹介
2．空気圧装置での発生事例
3．油圧装置での発生事例
4．伝達装置での発生事例
5．自社事例

■日　程：2026年２月16日(月)～17日(火)
■受講料：8,000円　　定員12名（先着）
■会　場：高度ポリテクセンター（千葉市美浜区）

人材育成事業報告

◆令和７年度鍛造マネージャー育成塾コース「科目５　工具と潤滑」実施

去る７月22日(火)－23日(水)に名古屋工業大学（愛知県名古屋市）において、「工具と潤滑」をテーマに実施しました。

１日目は、鍛造における摩擦・潤滑・摩耗のメカニズムや金型・工具材料、熱間・冷間鍛造用潤滑剤について講義を行いました。その後、本科目のテーマに関連する日常課題とその対策案をグループに分かれて討議し、課題解決の考え方を学びました。

２日目は、潤滑油と摩擦に関する３種類の試験実習（冷間リング圧縮試験、冷間ボール通し試験、熱間リング圧縮試験）を行い、講義で学んだ内容を使用しながら試験結果を考察・発表するグループ討議を実施しました。

◆令和７年度金属熱処理通信講座　集合講座実施

去る８月４日(月)－5日(火)の２日間、高度ポリテクセンターにおいて「令和７年度金属熱処理講座（集合講座)」を実施しました。

１日目は、鉄鋼材料の基礎や平衡状態図・組織に関する座学に加え、焼入れ・焼戻し、焼ならしなどの実習を行い、素材の組織変化について理解を深めました。

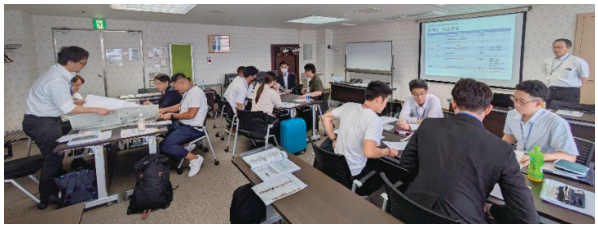
２日目は、鉄鋼材料の熱処理やトラブル対策について学び、変形や応力除去焼なましの実習を通じて、実践的な知識を習得しました。

◆令和７年度鍛工品製造業実践型人材養成コース「教科２　安全衛生」「教科３　品質管理」実施

去る６月16日(月)－17日(火)にすみだ産業会館（東京都墨田区）において、２日間実施しました。

１日目は、安全衛生について学びました。座学のほかグループ討議を実施し、各社が実施している安全対策を共有しました。

２日目は、品質管理について概念から実践まで、座学中心に学びました。



「教科４　鍛造設備」実施

去る７月17日(木)に日本鍛造協会(東京都中央区)、18日(金)に東京ビッグサイト（東京都江東区）において、２日間実施しました。

１日目は、座学にて鍛造設備を学びました。自社の設備について理解を深めるだけでなく、自社にない設備についても動画を用いた講義によって機械の強み・弱み等の特徴を学びました。

２日目は、午前中は座学中心の講義を実施し、午後は現場学習としてMF-TOKYO2025を視察しました。展示会では、最新の設備や技術の向上を知る機会となりました。

予告

『第２回鍛造業若手社員海外研修』

●研 修 先：台湾　企業訪問　７社
●日　　程：11月30日(日)
　　～ 12月４日(木)
●募集人員：10名

まもなくご案内しますので、ぜひご検討ください。

MANYO
ビレットシャー　30TON～1300TON
フォージングロール　FR120～FR960
プレス　50TON～3000TON
アプセッター　200TON～2300TON
Tel 06-6458-0481